



明石市立  
文化博物館

# 文化博物館だより 第189号

2007年9月19日

みなさん、こんにちは。文博では秋の日にふさわしいイベントが行われました。

## ● 秋の休日は和楽器の音色とともに

9月17日(月・祝)「雅を楽しむ宴」と題して、明石三曲協会双葉会によります琴と尺八「初秋 琴の調べ」と、神戸学院大学茶道部によります呈茶席が催されました。ロビーに呈茶席が設けられ、いつもと異なる雰囲気になりました。

「初秋 琴の調べ」では「秋の讃歌」「葦の街」「星降る宵に」「故郷のうた(旅愁・故郷・埴生の宿・紅葉のメドレー)」の4曲が演奏されました。現代的な選曲で、最後のメドレーは誰もが知っているメロディでしたが、琴と尺八の演奏で聴くとより一層切なく響いて、胸を打たれるものがありました。

呈茶席では、おくさまに作法を教わりながら召し上がるだんなさまの姿も見られました。

「家でもお茶を点てています」という方や「戦時中、淡路に慰問に行って琴を演奏したことがある」と思い出を話してくださる方等、たくさんの方にお楽しみいただきました。



奏者の皆さん。お揃いの青い着物で登場されました



一服...

## ● どんなお話をしているのでしょうか

企画展「兵庫のやきものとその周辺」展で仲良く並んでいる布袋さん。少し開いた口は今にも何かを語りだしそうです。みなさんならどんなセリフをあてはめますか。面白いセリフを思いついたら教えてくださいね。



三田焼 青磁布袋手焙

9月24日(月・祝)にも雅を楽しむ宴が開かれます。まだ暑い日が続きますが、一足早く秋の雰囲気を楽しみにいらしてください。